

令和2年9月30日

関係学校長 殿
数学科主任 殿

公益社団法人九州数学教育会
会 長 溝 口 佳 寛
(九州大学教授)

九州数学教育会 第54次 第1回算数・数学教育研修会について (ご案内)

時下、貴校におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、標記の研修会を下記の要領で開催いたします。
つきましては、貴校算数科及び数学科の諸先生方に参加をお勧めいただきますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 令和2年10月18日(日) 10時30分～13時00分
2. 会 場 Zoomによるオンライン開催
※ オンライン参加方法は別紙を参照下さい
3. 内 容 10:30～13:00
講義 「算数・数学と人間や社会とのかかわり」
－ 日本における数学の教育研究プログラムについて －
講師 九州大学 教授 溝口佳寛 先生
4. 参加費 無料 (参加ご希望の方は、事前にオンライン参加登録をお願いします)
* 問合せ先 公益社団法人 九州数学教育会事務局 (担当: 福田)
〒815-0082 福岡市南区大楠3丁目23-23
TEL 092-531-9539
Fax 092-531-0332
Email office@kyusukyo.sakura.ne.jp

「算数・数学と人間や社会とのかかわり」

－ 日本における数学の教育研究プログラムについて －
溝口 佳寛（九州大学マス・フォア・インダストリ研究所）

「算数・数学」の教育カリキュラムにおいても、人間や社会との関わりについての指導内容も増えて来ています。それは、コンピュータ関連技術(人工知能(AI)、スーパーコンピュータなど)の発達により、その背景にある数学の役割が大きくなっているからです。そして、そのことを一部の専門家のみでなく、国民として理解し、算数・数学の教育と研究の必要性への理解を深め、国民全体を豊かにしていくことが大切と考えられているからです。今回は、数学と人間や社会とのかかわりについて、現在日本で進行中の研究・教育プログラム

- (1) 九州大学マス・フォア・イノベーション卓越大学院プログラム (JST)、
- (2) 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム (文部科学省)、
- (3) 数理科学の新展開と諸科学・産業との連携基盤構築 (日本学術会議)

について紹介し、ますます重要となる算数・数学教育において、未来を担う小学生、中学生、そして、高校生へ何を伝えれば良いか、何を教育すれば良いかを議論したいと思います。

[参考資料(引用元)]

[1] 卓越大学院プログラム「九州大学マス・フォア・イノベーション卓越大学院」

<https://www.math.kyushu-u.ac.jp/news/view/1435>

2020 年度 JST「卓越大学院プログラム」に採択された 5 年一貫の博士課程学位プログラムを紹介します。本プログラムでは、産業界や諸科学分野の研究者と共創して、数学を用いて大学でも企業でも社会を変えるイノベーションを創発することができる卓越した数学博士人材を育成するためのプログラムが計画されています。

[2] 数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム

<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/>

大学における数理・データサイエンス教育の充実のための取組成果を全国へ波及させるための活動を推進し、数理・統計・情報を基盤として未来世界を開拓できる人材の育成を目指します。2016 年 12 月に選定された九州大学を含む 6 拠点大学を中心に 23 の協力校、7 分野の特定分野協力校、そして、64 の連携校とともに事業を展開しています。

[3] マスタープラン 2020「数理科学の新展開と諸科学・産業との連携基盤構築」

<http://www.sc.j.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-24-t286-1.html>

2020 年 1 月に日本学術会議より公表されたマスタープラン 2020 の中で「数理科学の新展開と諸科学・産業との連携基盤構築」について紹介します。それは、日本全国の数理科学の研究機関が連携したネットワーク型研究拠点を形成し、数学・数理科学に基づく分野を横断・統合する手段を確立することで異分野の融合とそれによる社会のイノベーションを目指す 10 年プランです。

2020年9月20日

九州数学教育会第1回研修会（10月18日）オンライン参加案内

標題の件について、以下に記載致します。

1. 日時：2020年10月18日(日) 10:30-13:00
2. 開催場所：Zoomによるオンライン開催
3. 参加予定者：どなたでも聴講可能です。
4. Zoom接続方法



事前に以下の手順を行い準備中のホスト画面(図4)までの接続確認をお願いします。

[準備] iOSやAndroid携帯電話等で参加される場合は、次ページのアイコンをクリックして、事前に Zoom Cloud Meetings アプリ をインストールして下さい。パソコン(Windows/Mac等)ではブラウザで会議室接続時に必要なアプリが自動でインストールされます。

(ア) 次のホームページ URL で、**事前に電子メールの登録**をお願いします

(cf. 上のQRコード, 図1, 図2).

<https://us02web.zoom.us/join/zoomcloudmeetings>

(イ) 登録後、以下のような、ミーティング参加に関する情報の**確認メールが届きます**。

メール送信者は「九数教 事務局(no-reply@zoom.us)」です。

----- (メール本文) -----

PC、Mac、Linux、iOS、またはAndroidからご参加ください：[ここをクリックして参加](#)

メール本文中の「[ここをクリックして参加](#)」をクリックして参加して下さい。

(ウ) Zoomアプリを既にインストールしていれば一番下の「ミーティングを起動」で開始します(cf. 図3)。クリックするだけで自動的に準備中の会議室に接続できます

(cf. 図4)。開始時間にホストの準備が完了すると会議室内に入れます。

(エ) 画面下にある、マイクとカメラのアイコンをクリックして、自分の音声や画像の送信を制御します。マイクは通常「ミュート」しておき、自分が発言する際にのみ「ミュート解除」します(図3)。

※ 管理者は参加者のマイクを一斉にミュートしたり、指定する発言者のミュート解除を行うことができます。

(オ) 同じ登録Emailアドレスで、PCとスマホなど複数のデバイスから接続可能です。

※ スマホでは下記の Zoom Cloud Meetings アプリのインストールが必要です。





図 1: 電子メール登録開始画面
「名」、「姓」、「メールアドレス」は入力必須です。



図 2: 登録終了画面, 同様の内容が登録メールアドレスにもメールが届きます。



図 3: 登録後 URL クリック直後画面 (iPhone)



図 4: 会議室接続画面 (iPhone)
ホストが会議室準備前は上記の画面になります。